

ノリ養殖環境速報 KH-01-11 (播磨灘)

令和2年2月14日 発行

調査年月日：令和2年2月13日

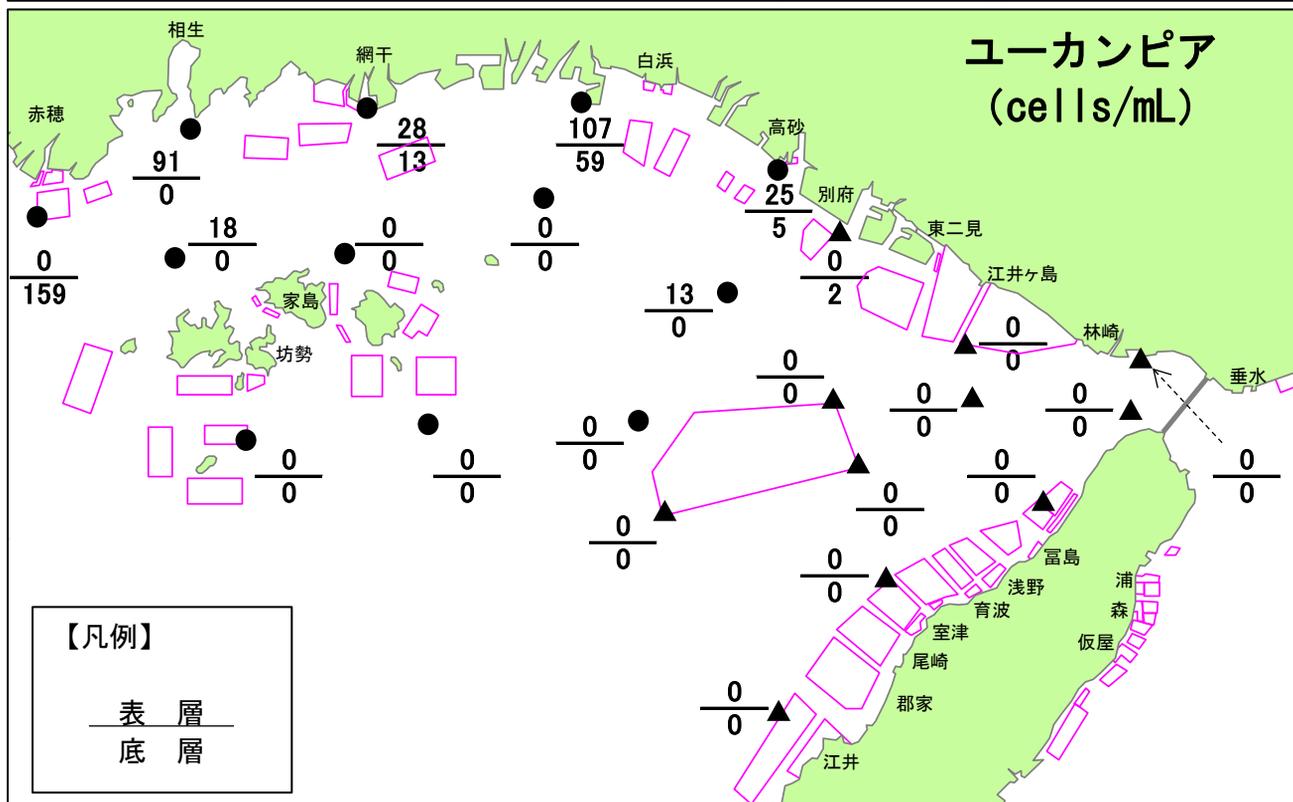
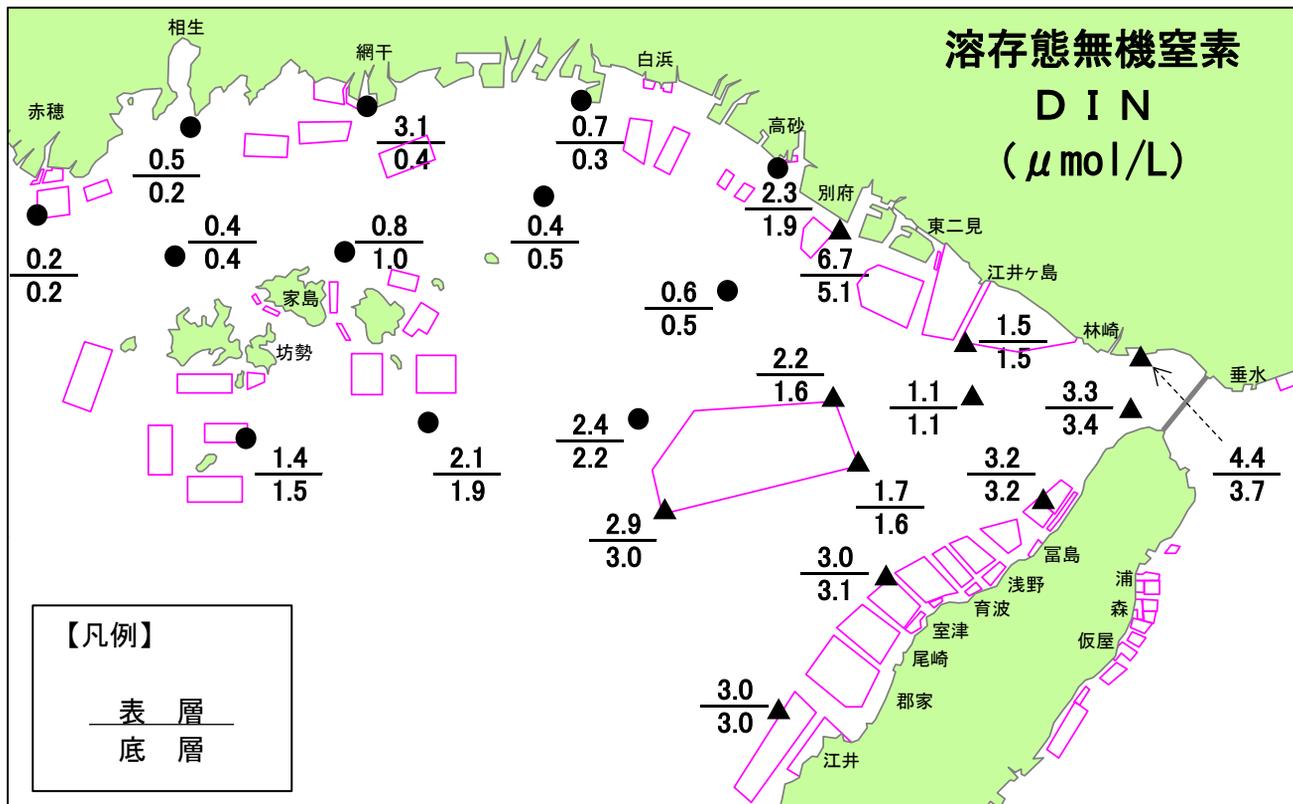
[調査箇所は地図上に●(西部)および▲(東部)印で表示しています。]

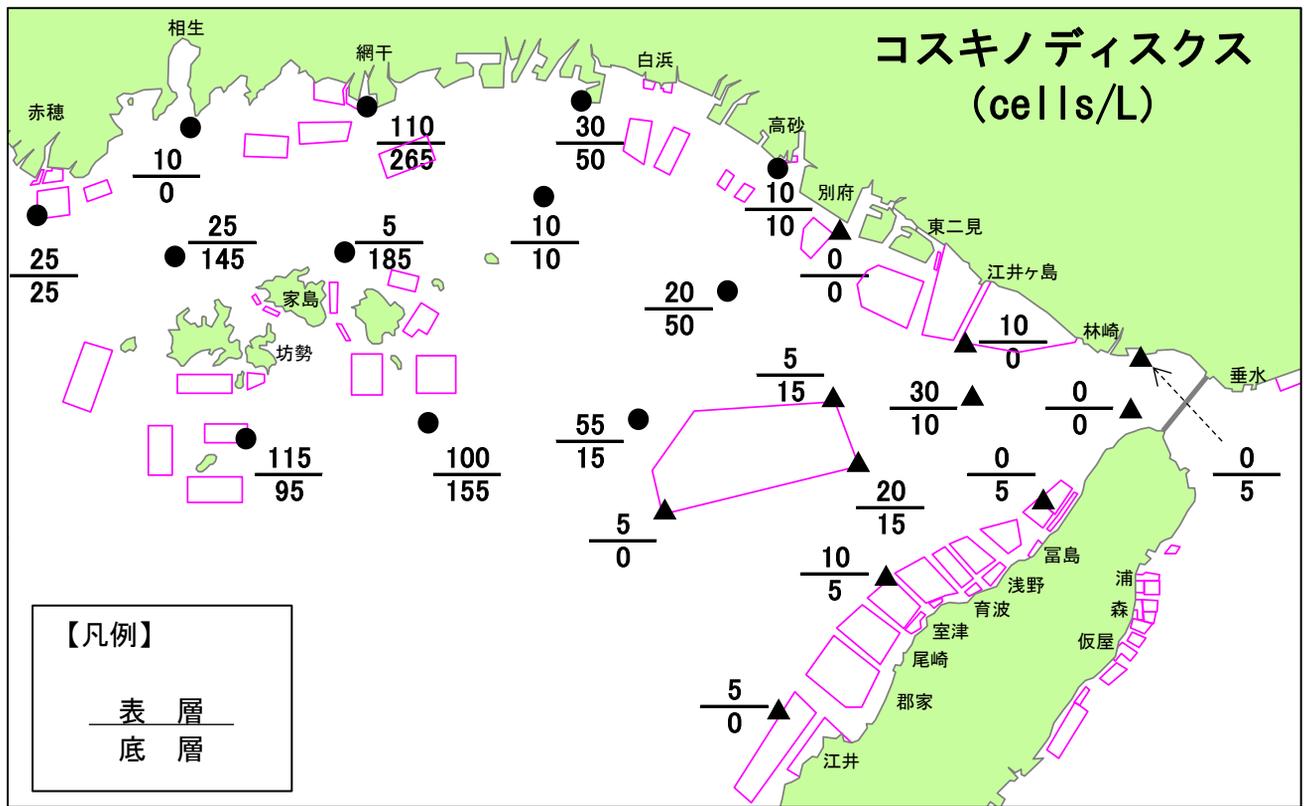
概況

播磨灘北部(調査海域)の表層DIN濃度は、西部では0.2~3.1 $\mu\text{mol/L}$ 、東部では1.1~6.7 $\mu\text{mol/L}$ で推移しています。高砂から赤穂にかけての沿岸部および家島諸島北部海域では、一部を除いて1.0 $\mu\text{mol/L}$ 以下と低い値になっています。

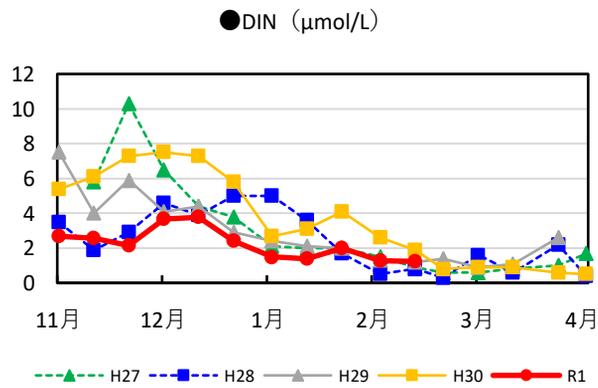
大型珪藻のユーカンピアは北西部沿岸域に分布していますが、減少傾向です。

水温は、白浜以西では9.2~11.5 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では10.0~11.2 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で10.6~10.9 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では11.3~11.8 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では10.8~11.3 $^{\circ}\text{C}$ でした。

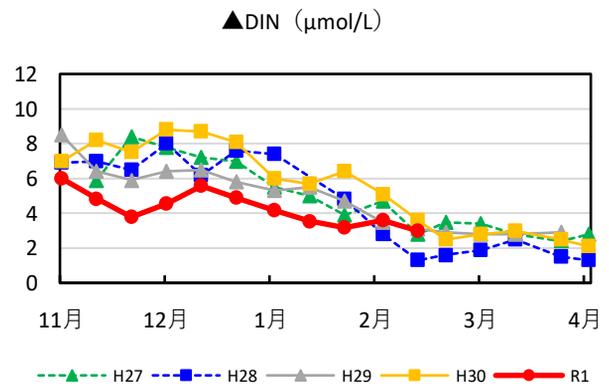




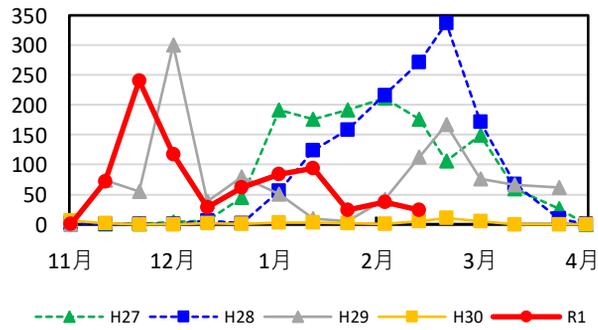
西部(●)12点 表層平均



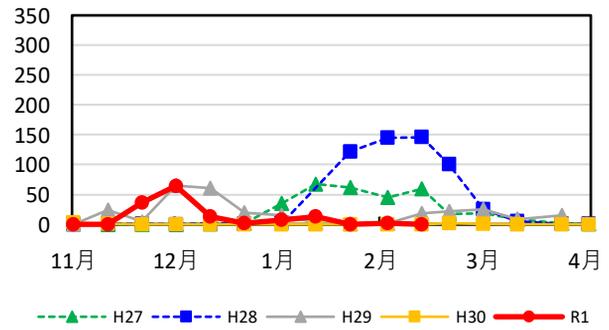
東部(▲)11点 表層平均



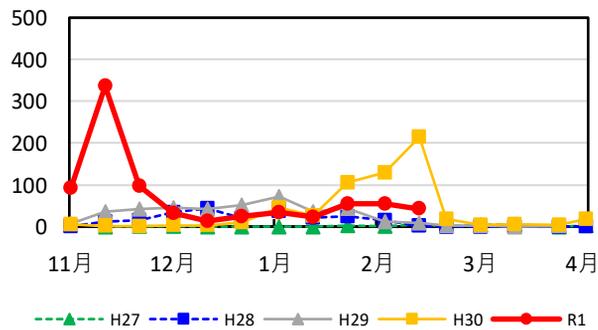
●ユーカンピア細胞密度 (cells/mL)



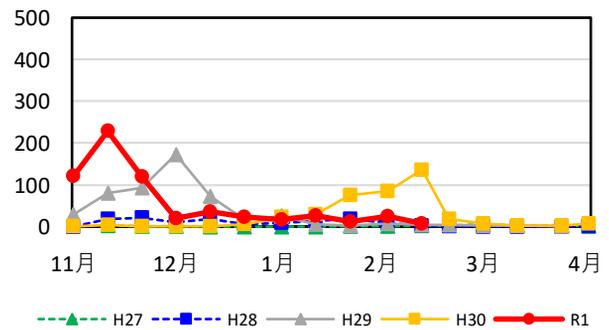
▲ユーカンピア細胞密度 (cells/mL)

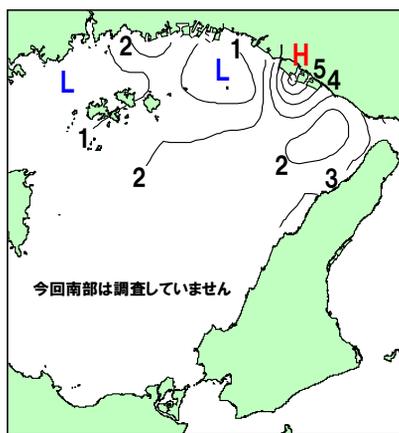


●コスキノディスクス細胞密度 (cells/L)

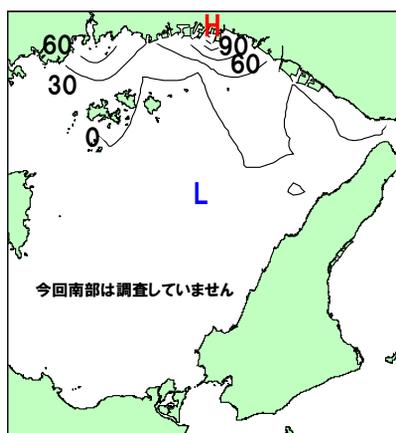


▲コスキノディスクス細胞密度 (cells/L)

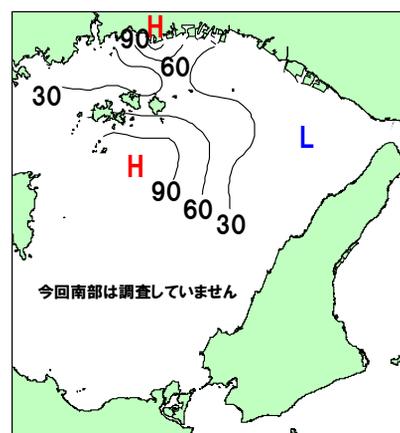




DIN濃度 (μmol/L)



ユーカンピア (cells/mL)



コスキノディスクス (cells/L)

令和2年2月13日の水平分布状況(表層、実測値)

(Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています。)

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

表層のDIN濃度は、北東部沿岸から淡路島沿岸にかけて高く、北西部沿岸で低い結果でした。家島諸島南側から東部海域の広い範囲で2~3μmol/Lとなっていますが、今後は例年通り徐々に濃度が低下していく見込みです。

北西部海域で多く発生していたユーカンピアは減少傾向です。

大型珪藻のコスキノディスクス・ワイレシーが網干沿岸および家島諸島の南側を中心に発生しています。栄養塩の低下を招く可能性もありますので、今後の動向にご注意下さい。

週間天気予報 気象庁 2月13日16時32分発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間の近畿地方は、北部では気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、雨や雪の降る日が多い見込みです。中部や南部では気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめは雨の降る日があるでしょう。

最高気温、最低気温はともに、期間のはじめは平年よりかなり高く、その後は平年並か平年より高い見込みです。

降水量は、平年並か平年より多いでしょう。

その他の情報

- ・岡山県の情報は2/13に、香川県の情報は2/12に更新されています。
- ・他県の調査については、以下のURLから参照してください。

岡山県：<http://www.pref.okayama.jp/page/579394.html>

香川県：<https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/jyuhou.htm>

【参考】栄養塩の単位：μmol/L = μg・at/L = μM

【今後の予定】

・令和2年4月上旬まで毎月3回程度（上・中・下旬）の発行を予定しています。

・次回は令和2年2月26日頃に発行する予定です。

※この情報は、水産技術センターホームページ (<http://www.hyogo-suigi.jp/>) でもご覧いただけます。